

ご入園、ご進級 おめでとうございます。

みんな 誰もがそれなりに 初めての経験への旅立ちの季節です。4月は新しい節目、大きく飛躍してみたい月です。しかし希望に胸膨らませるだけでなく、新しい環境になじむまでの不安、「うまくやれるかな?」「泣いていないかな?」... あんなこと、こんなこと、いろいろと気持ちの上では、誰もが足ふみしがちですね。

でも心配しだすときりがありません。そこで親御さんへのおすすしめは出来る限り「幼稚園は楽しいところ。だからうちの子は、先生に、きっと友だちに、環境に慣れていくに違いない。大丈夫!」とゆったりした心で見守ってくださるとうれいしですね。

子どもさんによっては時間差はありますが、一人一人にとってうれしき楽しい 幼稚園となりますよう、わたしども大人は焦らずにゆったりとしたところで待ちたいと思います。

やはりありのままから始めましよう。泣きたいときには泣いたらいい、うれしかったらにっこり笑ってみて。幼稚園は自分を素直に表せるところ、なんといってもこれが一番。

*成長はゆっくり、急がない、しずかに待つ心で出発です。

.....
「桃の節句に 次女への訓示」

*泣くときは、口^{くち}空いて
ハンカチもって 泣きなさい
こどもながらに 用意がいいと
ほめるおじさん いるかもしれない
ぼくはべつだん ほめないけどね。
辻 征夫 詩集「風のひきかた」より
.....

主よ、あなたの^{あわれ}憐みの心を閉ざすことなく
慈^{いつく}しみとまことによって
いつも わたしをお守り^{まも}ください。